



平成 21 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県高崎市あら町5番地1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 経営企画室長 木 下 憲 明
電 話 番 号 027-310-8040 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表した平成 22 年度 3 月期（中間・通期）業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	530	△155	△157	△160	△259 57
今回修正予想 (B)	448	△168	△166	△171	△277 42
増減額 (B - A)	△82	△13	△9	△11	—
増減率 (%)	△15.4	—	—	—	—
前期実績 (平成 20 年 9 月期)	525	△191	△196	△205	△333 07

2. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	1,180	△145	△150	△155	△251 46
今回修正予想 (B)	1,030	△190	△195	△215	△348 80
増減額 (B - A)	△150	△45	△45	△60	—
増減率 (%)	△12.7	—	—	—	—
前期実績 (平成 21 年 3 月期)	1,036	△382	△389	△496	△806 00

3. 修正の理由

当期第2四半期累計期間の業績につきましては、研究用試薬関連事業の試薬関連受託サービスでの受注減と、疾患モデル動物販売受注の落ち込みにより、当初予想を下回る結果となる見込みであります。この要因は、主に従来からの顧客である医薬品会社からの受注減によるものであり、大手をはじめとする医薬品各社での開発項目の変更、開発案件の縮小あるいは絞込み強化によること等が影響していると考えられます。一方、政権交代後の医療制度についても未だ明確な施策が公表されておらず、我が国の経済状況の回復にまだ不安を残す形となっております。

また、通期業績予想につきましては、当期第2四半期累計期間の業績予想数値を踏まえた上で修正をしております。今回策定いたしました「中期経営計画」に述べました施策を全社一丸となり、着実に実行し、「中期経営計画」の数値目標を達成すべく邁進してまいります。

しかし、通期業績予想の売上高は、前回発表予想の1,180百万円を下回り1,030百万円の見込みであります。また、営業利益、経常利益、および当期純利益についても、このような環境下、販売管理費の削減（人員削減、役員報酬削減、従業員給与および賞与削減）を実行してまいりますが、最終的に前回発表予想を下回る見通しであります。

なお、本日発表の「開発パイプライン中止のお知らせ」に伴うマイルストーン契約料は、当初より売上予算に組み込んでいなかったため、今期業績予想への影響はありません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上